

木村管工株式会社

# 環境活動レポート

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）

作成：2019年5月29日

木村管工株式会社

## 目次

### 内容

1	環境方針	2
2	事業の内容	3
3	環境経営目標とその実績	12
4	主な環境活経営動計画の内容環境への取組状況	13
5	環境への取組状況	14
6	環境関連法規への違反・訴訟等の有無	16
7	代表者による全体評価と見直しの結果	16
8	次回の活動予定内容	17
9	2018年度受託した産業廃棄物の処理量	17

## 1. 環境方針

木村管工株式会社は、会社の発展と地球環境保全との調和を積極的に進めるべく産業廃棄物の中間処理、資源リサイクルを独自の観点から積極的に推進し人間と自然との共生を図り、社会の持続的発展に寄与してまいります。

このように全社を挙げてこれからも地球環境保全に積極的に取り組んでまいります。

1. 環境への影響を調査及び評価し、当社の活動・製品及びサービスから発生する環境負荷を与えている主要因を効果的に低減または削減するために技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき環境目的及び環境目標を定めます。
2. 環境改善計画を立案・実施し成果を評価して見直し、さらには次なる改善目標及び目標につなげるための環境マネジメントシステムを構築します。
3. 当社には順守しなくてはならない法律があります。これらの環境に関する法令・規制・条例・協定・その他近隣の方々との合意事項等を順守するのみならず先進の精神で積極的に環境保全を図ります。
4. 従業員に必要な教育・訓練を行い、環境保全意識が高く模範的行動がとれる人材を育成します。
5. 本社・各事業所で可能な範囲の美化運動を推進します。
6. 次の項目については、積極的に推進します。
  - 全社を上げて水使用量・二酸化炭素排出量・電気使用量・化石燃料使用量・最終処分廃棄物等の削減への取組
  - 当社に廃棄物を持ち込む・持ち出す事業者に対してアイドリングストップの協力
  - リサイクル化の推進を通し社会に貢献
  - 廃棄物処理における環境配慮（重機の適切な運転、お客さんの車両待機時間の短縮）
  - 中和薬剤等（希硫酸）の適切な管理を行う

平成 30 年 4 月 1 日

木村管工株式会社

代表取締役

木村 徹

## 2. 事業の内容

### ①会社概要

会社名	木村管工株式会社
本社住所	神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町 1120 番地 1
代表者	代表取締役 木村 徹
資本金	1,000 万円
設立年月日	1979 年 3 月 13 日
取扱い産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず 廃アルカリ、鉱さい、がれき類、はいじん、政令 13 号物
事業内容	産業廃棄物の収集運搬及び処分、リサイクル業 建設資材製造販売

	15 年度	16 年度	17 年度	18 年度
従業員数（4 月現在）	63 名	68 名	66 名	69 名
売上（百万円）	1,307	1,336	1,478	1,495
中間処理量	33,297.3 t	32,061.8 t	38,414.4 t	40,384.6 t
収集運搬量	5,491.8 t	6,099.4 t	7,402.3 t	7,451.6 t
処理後の最終処分量	2,508.6 t	2,399.7 t	2,567.6 t	2,275.7 t

保有車両	10 t 車	4 台	4 t 車	5 台	3 t 車	3 台
	軽トラック	2 台	営業車	4 台	1.5 t 車	1 台

### ②所在地及び施設概要

保土ヶ谷今井事業所	
住所	神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町 1151
保管面積（積替保管）	338.73 平方メートル
保管上限（積替保管）	693.49 立法メートル
積上高さ（積替保管）	2.5 メートル
廃棄物の種類（積替保管）	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
保有重機	バックホー 1 台 ホイローダー 1 台 フォークリフト 1 台
敷地面積	988 m <sup>2</sup>

上瀬谷事業所	
住所	神奈川県横浜市瀬谷区上瀬谷町 46-1
保管面積（積替保管）	449.08 平方メートル
保管上限（積替保管）	1018.15 立法メートル
廃棄物の種類（積替保管）	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類
保管上限（積替保管・特管）	1.9 立法メートル
廃棄物の種類（特管）	廃油
処理能力（中間処理） 及び廃棄物の種類	圧縮：10.4 t/日（設置年月日：平成 2004 年 2 月 3 日） 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 最大保管量：14.6 立法メートル
保有重機	バックホー 2 台 ホイローダー 1 台 フォークリフト 1 台
敷地面積	3,910 m <sup>2</sup>

川崎岡上事業所	
住所	神奈川県川崎市麻生区岡上 1028
保管面積（積替保管）	75.1 平方メートル
保管上限（積替保管）	99.2 立法メートル
積上高さ（積替保管）	容器 1 段積みに限る
廃棄物の種類（積替保管）	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず、がれき類
処理能力（中間処理）	圧縮：9.6 t/日（設置年月日：2004 年 3 月 15 日） 廃プラスチック類
保有重機	バックホー 1 台 ホイローダー 1 台 フォークリフト 1 台
敷地面積	1,251 m <sup>2</sup>

北町中間処理プラント	
住所	神奈川県横浜市瀬谷区北町 20-20
保管面積（積替保管）	6.9 平方メートル
保管上限（積替保管）	8 立法メートル
廃棄物の種類（積替保管）	廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 ※石綿含有産業廃棄物を含むものに限る
処理能力（中間処理）	破碎①：78 t/日（設置年月日：2001 年 5 月 23 日） 木くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類

	破碎②：4.98 t/日 （設置年月日：2001年5月23日） 廃プラスチック類 圧縮：8.32 t/日 （設置年月日：2004年2月3日） 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず 選別：160 t/日 （設置年月日：2017年1月12日） 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず 木くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 最大保管量：490.89 立法メートル
保有重機	バックホー 3台 フォークリフト 1台
敷地面積	1,215 m <sup>2</sup>

資材再生プラント	
住所	神奈川県横浜市瀬谷区目黒町9-7
処理能力（中間処理）	分級造粒固化：210 t/日 （設置年月日：2009年10月1日） 木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 破碎：31.2 t/日 （設置年月日：2013年2月28日） ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類 最大保管量：1959.08 立法メートル
保有重機	バックホー 2台 ホイルローダー 1台
敷地面積	3397.45 m <sup>2</sup>

③環境管理責任者：担当者氏名及び連絡先

環境管理責任者：木村 雅生

担当者：雨宮 慧

連絡先：電話 045-351-9640 FAX045-351-9531

④許可内容

都道府県・市	業区分	許可番号	許可年月日	許可期限
横浜市	処分	第05620001425号	2018年4月1日	2025年3月31日
川崎市	処分	第05720001425号	2004年4月1日	2023年3月31日
横浜市	収集運搬（積保）	第05610001425号	2018年4月1日	2025年3月31日
川崎市	収集運搬（積保）	第05710001425号	2017年11月1日	2024年10月31日
神奈川県（※1）	収集運搬	1402001425	2017年10月13日	2024年9月28日
東京都（※2）	収集運搬	第13-00-001425号	2004年4月1日	2023年2月28日
千葉県（※3）	収集運搬	第1200001425号	2006年8月17日	2023年8月31日
群馬県（※4）	収集運搬	01000001425	2018年9月10日	2025年9月9日

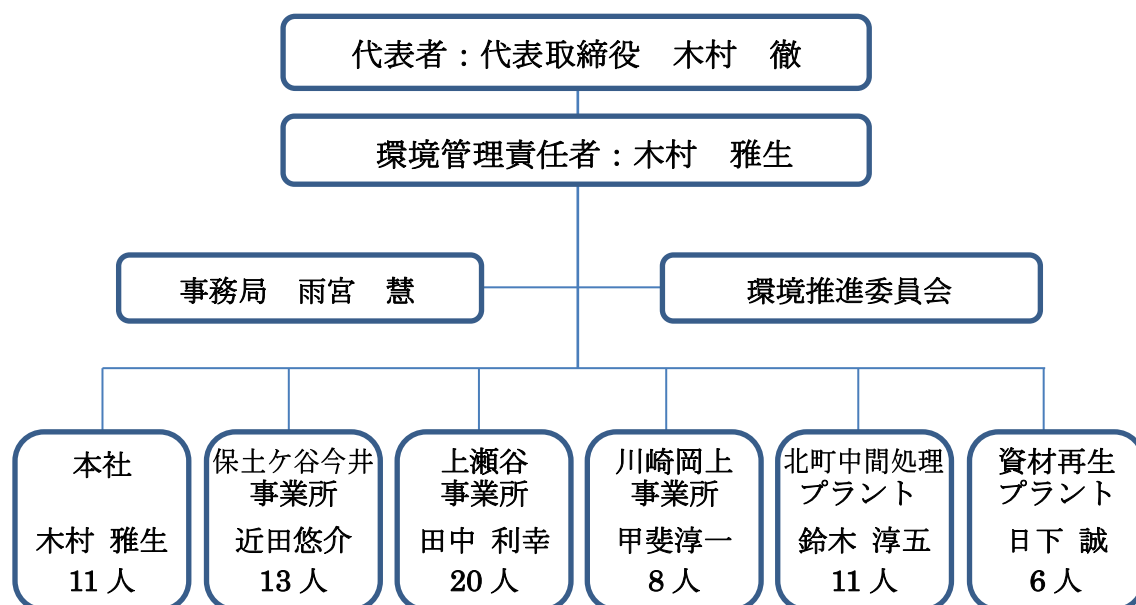
埼玉県 (※5)	収集運搬	01100001425	2012年2月3日	2024年2月2日
静岡県 (※6)	収集運搬	第02201001425号	2017年9月2日	2022年9月1日
栃木県 (※7)	収集運搬	00900001425	2018年3月14日	2023年3月13日
茨城県 (※8)	収集運搬	00801001425	2018年10月12日	2023年10月11日
横浜市 (※9)	収集運搬(特管)	第05660001425号	2007年5月1日	2024年4月30日
神奈川県 (※10)	再生事業者	第G00241号	2006年9月21日	—

〔備考：許可を受けた産業廃棄物の種類〕

- (※1) 燃え殻・汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含む）・廃油・廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）・ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）・がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※2) 燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラス、コンクリート、陶磁器くず・銚さい・がれき類・ばいじん・法令13号物（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※3) 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く）・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず（自動車等破砕物を除く）・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く）がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※4) 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）・がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※5) 燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）・がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※6) 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）・がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）燃え殻・汚泥・廃油・廃アルカリ・紙くず・木くず・繊維くず・銚さい・ばいじん
- (※7) 燃え殻・汚泥・廃油・廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む）・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）・ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む）・がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※8) 燃え殻（水銀含有ばいじん等を除く。）・汚泥（水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を除く。）・廃油（水銀含有ばいじん等を除く。）・廃プラスチック類（自動車等破砕物を除き、石綿含有産業廃棄物水銀使用製品産業廃棄物を含む。）・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず（自動車等破砕物を除き、石綿含有産業廃棄物水銀使用製品産業廃棄物を含む。）・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除き、石綿含有産業廃棄物水銀使用製品産業廃棄物を含む。）・がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）
- (※9) 廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）
- (※10) ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類の再生

⑤組織図及び役割

## 木村管工株式会社の環境組織体制図



木村管工株式会社の環境組織における役割・責任・権限	
<b>代表者</b> <b>代表取締役</b> <b>木村 徹</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコアクション 21 運営に関する統括責任及び環境管理責任者の任命</li> <li>・ 環境方針の策定・見直し</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直しの実施</li> </ul>
<b>環境管理責任者</b> <b>木村 雅生</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコアクション 21 システムの構築、実施、管理責任</li> <li>・ 各事業所の環境活動の取組結果を代表者への報告</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
<b>事業所長</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の職場への周知</li> <li>・ 所内の環境目標・環境活動計画の実行と活動の確認。</li> <li>・ 所内の環境目標・環境活動計画の是正処置の実行</li> </ul>
<b>環境事務局</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐、全社の環境目標の立案・企画</li> <li>・ エコアクション 21 システムの要求規格への対応</li> <li>・ 環境関連の外部への窓口及び審査対応</li> <li>・ 環境活動計画書の作成と運用</li> <li>・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成と順守評価</li> <li>・ 環境活動レポートの作成、公開</li> <li>・ 環境への取組の自己チェック及び環境への負荷の自己チェック</li> </ul>
<b>全社員</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚と実践</li> <li>・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>



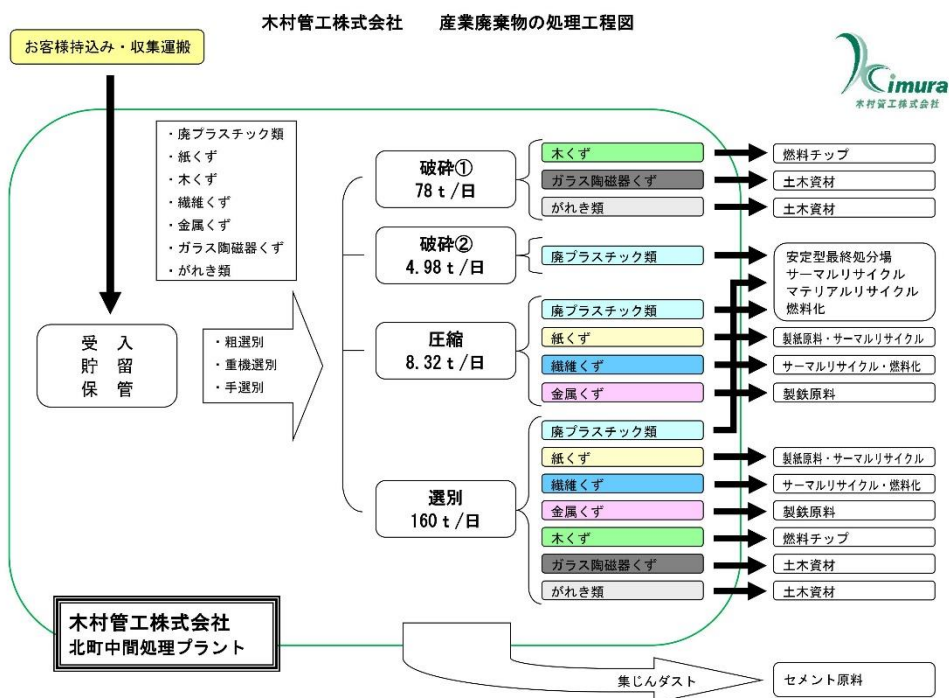
⑥有資格者一覧（2018年3月末時点）

資格・講習・特別教育	人数	資格・講習・特別教育	人数
破砕・リサイクル施設技術管理士	8	簿記3級	2
車両系建設機械運転技能講習	40	第二種衛生管理者	1
車両系建設機械運転技能講習（解体）	15	3級ファイナンシャル・プランニング技能士	1
フォークリフト運転技能講習	47	サービス接遇実務検定2級	1
中型自動車免許	55	トレース技能検定2級	1
普通自動車免許	4	自衛消防業務講習	1
大型自動車免許	16	自衛消防技術認定証	1
大型特殊自動車免許	4	低電圧取扱技工	1
普通自動二輪	21	普通救命講習	1
原付自動車	24	上級救命講習	1
大型自動二輪	4	現場派遣員基礎講習	1
第二種中型自動車運転免許	1	自動車単種目普通資格	1
第二種大型自動車運転免許	2	自動車整備検査員	1
けん引免許	4	玉掛作業	1
クレーン運転	1	酸素欠乏危険作業	2
小型移動式クレーン運転技能講習	9	職長安全衛生教育	1
床上操作式クレーン	3	職長・安全衛生責任者	2
小型車両系建設機械	2	ボイラー取付技能講習	1
不整地運搬車両	1	研削といしの取換え等の業務	1
安全衛生推進者	2	産業廃棄物収集運搬車両運転手	3
安全管理者専任時研修終了	1	小型船舶操縦免許	1
職長教育終了	2	研削といしの取扱者特別教育	1
土止支保工作作業主任者	3	締固め機	1
酸素欠乏危険作業主任者	4	電気取扱業務	1
有機溶剤作業主任者	1	土木工事の現場安全施工管理	1
足場の組立て等作業主任者	3	特定粉じん作業	1
宅地建物取引主任者	2	行政書士	1
3級自動車ガソリンエンジン整備士	3	2級土木施工管理技士	3

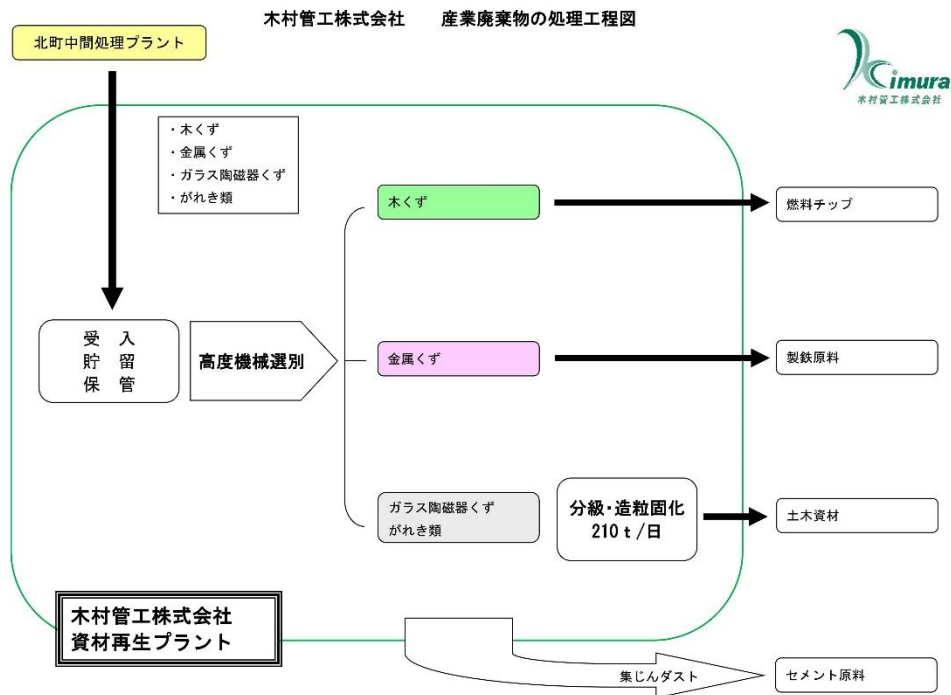
3級自動車シャーシ整備士	1	汚染土壌運搬担当者講習	2
2級ガソリン自動車整備士	1	適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会	1
2級ジーゼル自動車整備士	1	車両系建設機械運転技能講習（基礎）	1
危険物取扱乙種第4種取扱者	2	1トン未満フォークリフト運転業務特別教育	1
玉掛技能講習	14	JR東日本重機運転者資格認定証	2
ガス溶接技能講習	9	丸のこ等取扱作業従事者安全衛生教育	2
アーク溶接技能講習	7	足場の組立て等特別教育	3
特定化学物質等作業主任者技能講習	4	廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）	2
高所作業車運転技能講習	6	マイクロソフトオフィススペシャリスト	1
地山の掘削作業主任者講習	3	最終処分場技術管理士	1
石綿取り扱い作業従事者特別教育	1		

⑦処理工程図

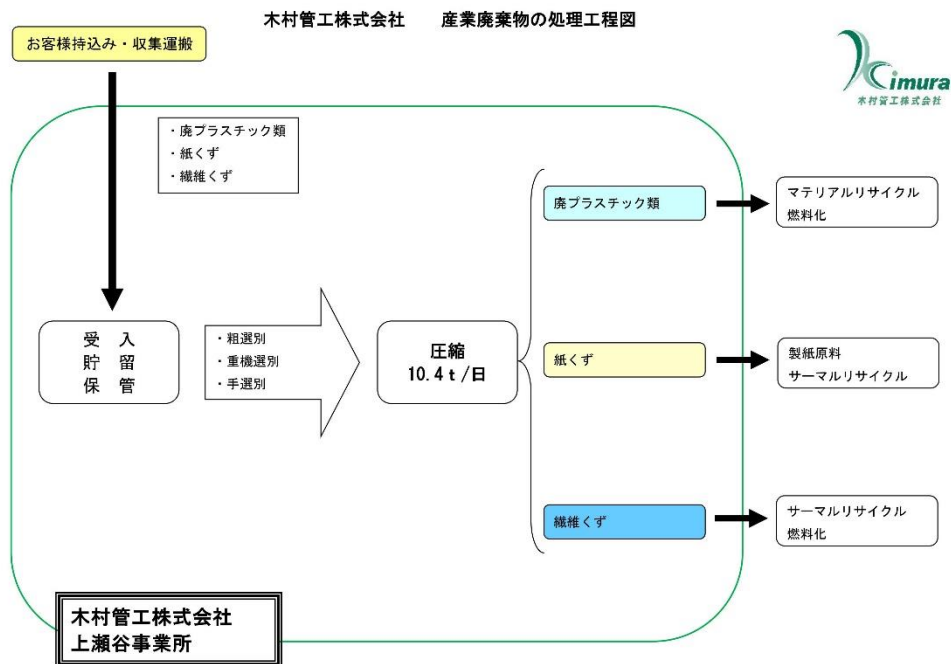
・北町中間処理プラント



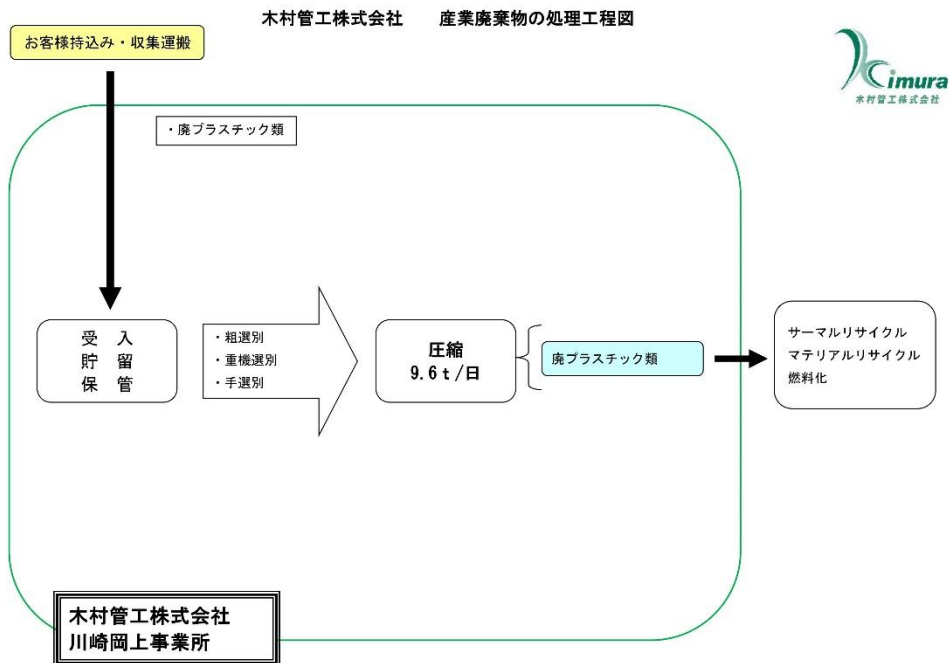
・ 資材再生プラント



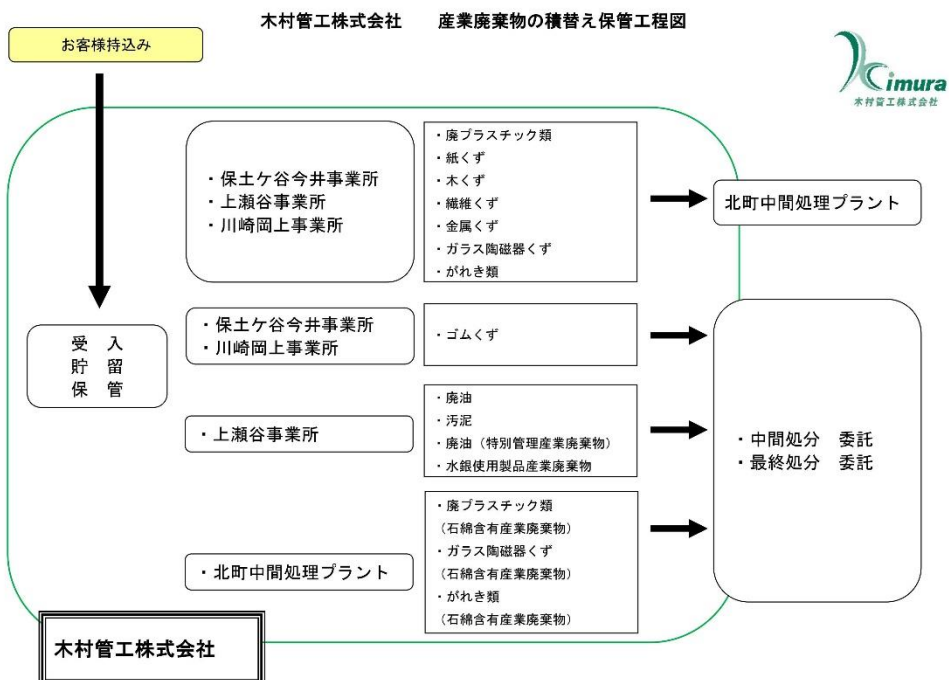
・ 上瀬谷事業所



・川崎岡上事業所



・積替え保管工程図



### 3. 環境経営目標とその実績

#### ①環境経営目標

木村管工株式会社は、会社の発展と地球環境保全との調和を積極的に進めるべく、産業廃棄物の中間処理・資源リサイクルを独自の観点から積極的に推進し、最終処分量（率）を低減し人間と自然の共生を図り、社会の持続的発展に寄与して参ります。

環境負荷と環境への取組結果を踏まえ定めた環境負荷低減のための目標と実績は次の通りである。

#### ②中期環境負荷低減目標（2018年度から2020年度までの中期目標）

アウトプット項目	単位	2017年度実績	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標
電力使用量 ①前年比1%削減 ②産業廃棄物の受入れ総量に対する使用率を、前年度比1%削減	kwh/年	①66,710.0 ②0.46283	①66,042.8 ②0.45820	①65,382.4 ②0.45362	①64,728.6 ②0.44908
軽油使用量（車両） ①産業廃棄物の収集運搬量に対する使用率を、前年度比1%削減 軽油使用量（重機） ②産業廃棄物の受入れ総量に対する使用率を、前年度比1%削減	ℓ/年	①0.08666 ②0.09086	①0.08579 ②0.08995	①0.08493 ②0.08905	①0.08408 ②0.08816
ガソリン使用料 産業廃棄物の受入れ総量に対する使用率を、前年度比1%削減	ℓ/年	0.01712	0.01695	0.01678	0.01661
二酸化炭素排出量 産業廃棄物の受入れ総量に対する排出率を、前年度比1%削減	kg-co2/年	0.44478	0.44033	0.43593	0.43157
水使用量 ①前年比1%削減 ②産業廃棄物の受入れ総量に対する使用率を、前年度比1%削減	m <sup>3</sup> /年	①424.0 ②0.00499	①419.7 ②0.00494	①415.6 ②0.00489	①411.4 ②0.00484
リサイクル率の向上	%	96.2	96.3	96.4	96.5
中和剤の管理（漏洩）	件	0.0	0.0	0.0	0.0
環境配慮 （搬入車両の待機時間 20分以内）	件	0.0	0.0	0.0	0.0

※目標値：2017年度目標を基準に2020年度まで設定。

※収集運搬業務に力を入れるため化石燃料（軽油・ガソリン）の使用量増加が見込まれる。

※プラント設備増強により電気、軽油使用量が見込まれる。

※積極的な営業活動を行い、仕事量が増えていくと思うが各使用量を抑えたい。

※リサイクル率＝再資源物・中間処理後再資源化物／搬入量

※目標設定時の購入電力の排出係数：0.505kg-co2/kwh。

※事業所により目標設定が異なる。

③中期環境負荷低減実績（2013年度から2017年度までの実績）

アウトプット項目	単位	2013年度実績	2014年度実績	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績
電力使用量	kwh/年	595,390.0	585,481.0	551,090.0	518,319.0	493,411.0
軽油使用量	ℓ/年	269,075.2	284,767.2	268,108.0	276,131.6	295,104.2
ガソリン使用料	ℓ/年	5,685.7	7,132.8	8,272.4	9,053.6	7,891.9
二酸化炭素排出量	kg-co2/年	948,519.2	989,300.2	1,006,127.6	1,008,568.1	1,042,210.1
水使用量	m <sup>3</sup> /年	2,571.0	2,491.0	3,060.0	5,790.0	6,987.0
リサイクル率の向上	%	91.1	91.8	93.2	94.3	96.2
グリーン購入	%	60.0	70.0	0.0	0.0	-
中和剤の管理（漏洩）	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
環境配慮（搬入車両の待機時間20分以内）	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※リサイクル率＝再資源物・中間処理後再資源化物／搬入量

※購入電力の排出係数：2013年度は0.378kg-co2/kwh、2014～2017年度は0.505kg-co2/kwhを使用

※2017年度のグリーン購入は実施していない

4. 主な環境経営活動計画の内容

当社の主要な環境保全に向けた具体的な取組内容を以下に示す。

①総エネルギー投入量・温室効果ガス排出量削減

- 社用車の効率的な運転の推進
- 無駄なアイドリングをせず、アクセルむらのない運転の推進
- 排出ガス削減型の建設機械の選定
- 重機の効率的な使用
- 昼休みの照明消灯（減灯）
- 保有重機の使用頻度の見直しによる減車

②廃棄物（一般廃棄物）最終処分量削減

- 紙類の分別回収による資源化
- 裏紙の使用
- 弁当を容器再使用者からの購入

③廃棄物（産業廃棄物）最終処分量削減

- 自社プラントによって再資源化された改良砂・改良土の製造販売
- 金属類の分別回収による再資源化
- ダンボールなどの紙くずの分別回収による再資源化
- 新しいリサイクル搬出先の確保
- 分別の徹底

④水資源投入量削減

- 節水コマの設置
- 効率的な散水

⑤環境経営システムに関わる取組実施率向上

- 社内コミュニケーションの活性化による情報の共有

## 5. 環境への取組状況

### 環境活動の取組結果の評価

今年度の環境保全活動が終了し、社長と環境管理担当部門が環境への取組結果の評価を行った。

評価結果は次の通りである。

アウトプット項目	単位	2018 年度目標	2018 年度結果	評価
電力使用量 ①前年比 1%削減 ②産業廃棄物の受入れ総量に対するの使用率を、前年度比 1%削減	kwh/年	①66,042.8 ②0.45820	①69,113.0 ②0.48821	①× ②×
軽油使用量（車両） ①産業廃棄物の収集運搬量に対するの使用率を、前年度比 1%削減	ℓ/年	①0.08579	①0.08126	①○
軽油使用量（重機） ②産業廃棄物の受入れ総量に対するの使用率を、前年度比 1%削減		②0.08995	②0.08831	②○
ガソリン使用料 産業廃棄物の受入れ総量に対するの使用率を、前年度比 1%削減	ℓ/年	0.01695	0.01331	○
二酸化炭素排出量 産業廃棄物の受入れ総量に対するの排出率を、前年度比 1%削減	kg-co2/年	0.03651	0.03669	×
水使用量 ①前年比 1%削減 ②産業廃棄物の受入れ総量に対するの使用率を、前年度比 1%削減	m <sup>3</sup> /年	①419.7 ②0.00494	①362.3 ②0.00466	○ ○
リサイクル率の向上	%	96.3	96.7	○
中和剤の管理（漏洩）	件	0.0	0.0	0.0
環境配慮 （搬入車両の待機時間 20 分以内）	件	0.0	0.0	0.0

## 【是正・予防策】

### ○電気使用量削減

- ・今年度の電気使用量は、前年度より搬入量（処理量）が増えたことによりプラントの稼働時間が伸びたため、施策への取り組みを強め削減への努力を怠らないように、取り組み強化の是正を行った。また、電気使用量削減の取組は二酸化炭素排出量のおおきなウエイトを占める項目でもあるので来期は目標を達成できるように削減に取り組んでいく。

#### 【是正を行った期】

- ・保土ヶ谷今井事業所：7-9 月期、10-12 月期
- ・上瀬谷事業所：4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期
- ・川崎岡上事業所：4-6 月期、7-9 月期、1-3 月期
- ・北町中間処理プラント：4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期
- ・資材再生プラント：4-6 月期、10-12 月期、1-3 月期

### ○軽油使用量削減

- ・全体としては目標を達成できたが、二酸化炭素排出量削減の活動の一つとして、事業所ごとに目標より進捗が悪かった時期に対し取り組み強化の是正を行った。

#### 【是正を行った期】

- ・本社：4-6 月期、1-3 月期
- ・上瀬谷事業所：4-6 月期、10-12 月期、1-3 月期
- ・北町中間処理プラント：4-6 月期
- ・資材再生プラント：10-12 月期

### ○二酸化炭素排出量削減

- ・この項目は、電気使用量削減・軽油使用量削減が大きなウエイトが占めるため、電気使用量削減・軽油使用量削減に対し、施策への取り組み是正を上記のように行なった。

### ○水使用量削減

- ・全体としては目標を達成できよく取り組めたが、2つの事業所で取り組み強化の是正を行った。

#### 【是正を行った期】

- ・保土ヶ谷今井事業所：10-12 月期
- ・上瀬谷事業所：4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期

### ○LPGガス使用量削減

- ・全体として目標は設けていないが、各事業所単位で使用量増加が見える事業所があるので、施策を重点的に見直し使用量削減を図る是正を行った。

#### 【是正を行った期】

- ・本社：7-9 月期、10-12 月期
- ・保土ヶ谷今井事業所：10-12 月期
- ・上瀬谷事業所：4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期
- ・北町中間処理プラント：4-6 月期、7-9 月期、10-12 月期、1-3 月期
- ・資材再生プラント：7-9 月期、10-12 月期



## 6. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規は、下表に示す。

内容	法規遵守結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
下水道法	○
浄化槽法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
消防法	○
道路運送車両法	○
自動車NOXPM法	○
じん肺法	○
労働安全衛生法	○
横浜市生活環境の保全に関する条例	○
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	○
フロン排出抑制法	○
近隣住民との協定	○

※環境関連法規制への違反はありません。

なお、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

### ●今期の取組結果について

- ・今期の結果を振り返ってみると、「電気使用量削減」と「二酸化炭素排出量削減」の二項目が達成できなかった。
- ・「電気使用量削減」について。今年度は前年度に比べ搬入量（処理量）が増えたことによりプラントの稼働時間が伸びたため削減目標を達成することが出来なかった。また、本社や各事業所の事務所内での使用に関しても効率的な使用や不必要な電力をカットするなど基本的な取り組みを強化していく。
- ・「二酸化炭素排出量削減」について。今期も目標を達成することが出来なかった。この項目は「電気使用量削減」と「軽油使用量削減」が大きく影響してくるので、この2項目に対しての取り組みを今後も強化して取り組んでいく。
- ・他の項目については目標を達成することが出来たので、来期以降も引き続き気を引き締めて活動を行っていく。また、エコアクション21の取組は従業員が率先して行うことが重要となるので、全員が当事者意識を持ち今後も活動を継続していく。

### ●削減目標について

- ・今年度は、「電気使用量削減」と「二酸化炭素排出量削減」を除く6項目が目標を達成するこ

とができた。来期は達成できた項目については今年度より削減できるよう取り組みを行っていく。達成できなかった項目については、活動内容を見直すと共に重点的に取り組みを行えるように従業員全体で取り組みを強化していく。

●総評

- ・今期の全社として、電気使用量削減と二酸化炭素排出量削減の項目が達成できなかった。特に二酸化炭素排出量削減においては、電気使用量削減と軽油使用量削減が大きなウエイトを占めているので、今期は重点的にこの2項目に注力して取り組みに行ってきた。しかし、電気使用量削減に対し年間の進捗が悪かったこともあり目標を達成することが出来なかった。来期は特に電気使用量削減について注力をし、施策の見直しも考えるとともに、再度全従業員一丸となり活動に取り組んでいきたい。電気使用量削減と二酸化炭素排出量削減以外の項目では目標を達成することができたので、来期も継続して取り組みを行っていく。

8. 次回の活動予定内容

産業廃棄物の処理基準は環境問題と常に歩んでいる。法改正とともに変化する産業廃棄物の処理基準に迅速かつ適正に対応できるように準備を怠りないように励む。また、近隣住民の協力あって日々の業務に取り組むことが出来るので良好な関係を保てるように、事業所周りの清掃をはじめとした地域の取り組みにしっかりと取り組み、ボランティア活動にも励んでいく。

次回の環境レポート作成予定日は、2020年5月中旬

9. 2018年度受託した産業廃棄物の処理量

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)
(i) 収集運搬	廃プラスチック類		951.5
	金属くず		385.8
	ガラス陶磁器くず		1,275.8
	がれき類		3,093.4
	紙くず		232.8
	木くず		1,463.0
	繊維くず		49.3
収集運搬量合計			7,451.6
(ii) 中間処理	廃プラスチック類	破碎	1,608.3
		圧縮	618.8
		選別	1,298.7
	金属くず	圧縮	1,804.7
		選別	348.2
ガラス陶磁器くず	破碎	9,680.7	

		選別	5,981.4	
	がれき類	破碎	4,057.4	
		選別	3,034.1	
	紙くず	破碎	1,725.4	
		選別	650.1	
	木くず	破碎	7,924.2	
		選別	1,226.2	
	繊維くず	破碎	583.6	
		選別	493.0	
うち 再資源化等 (有償)	廃プラスチック類	圧縮・選別/マテリアルリサイクル(売却)	265.4	
	金属くず	圧縮・選別/製鉄原料(売却)	2,091.5	
	ガラス陶磁器くず	造粒固化	9,596.4	
	がれき類	造粒固化	4,019.4	
	紙くず	圧縮・選別/製鉄原料(売却)	587.3	
	再資源化等量小計			16,560.0
中間処理合計			40,384.6	
(iii)最終処分	廃プラスチック類		0.0	
	ガラス陶磁器くず		0.0	
	がれき類		0.0	
最終処分量合計			0.0	
(iv)中間処理後の産業 廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	安定型埋立(委託)	2,275.7
		ガラス陶磁器くず	管理型埋立(委託)	0.0
	再資源化等 (逆有償)	廃プラスチック類	燃料化・サーマルリサイクル等(売却)(委託)	3,260.4
		ガラス陶磁器くず	建設資材化等(委託)	5,981.4
		がれき類	建設資材化等(委託)	3,034.1
		ガラス陶磁器くず・がれき類	セメント原料(委託)	120.9
		紙くず	焼却・熱利用(委託)	2,863.5
		木くず	燃料チップ化・サーマルリサイクル等(委託)	9,150.4
		金属くず	サーマルリサイクル	61.4
		繊維くず	燃料化・サーマルリサイクル等(委託)	1,076.6
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計			40,384.6	